

協会・公社・事業団等

1 都市交流協会

高槻市における都市レベル、市民レベルでの国際交流、地域間交流事業を行うことにより、高槻市の国際化及び国内外の相互理解に寄与するとともに、活力あふれる地域社会の形成及び国際平和に貢献するという目的のもと、姉妹都市等との国際交流、地域間交流に関する事業、国際及び地域間の相互理解並びに協力に関する事業などを、「国際社会に対応できるひとづくり」の基本理念のもと、市民による地域活動を機軸に姉妹都市等とも協力しながら実施している。

(1) 概 要

名 称	公益財団法人高槻市都市交流協会 (平成24年4月1日より公益財団法人へ移行)		
設立年月日	平成3年12月20日		
基本財産	2億円		
役員	(令和6年8月1日現在)		
理事長(代表理事)	－ 専務理事(代表理事)	－ 理事	3人
(行政経験者)	(行政経験者)	(市民代表、学識経験者等)	
		監事	2人
		(公認会計士・税理士、行政経験者)	
評議員数	7人		
顧問	1人(市長)		
事務局組織	事務局長(専務理事)	－ 職員(主査)	－ 職員

(2) 主な事業

① 子ども体験交流プロジェクト

- ・ 英語体験交流の実施
- ・ 国際理解・協力講座の開催
- ・ オンライン交流の実施
- ・ 海外学生団の受け入れ
- ・ 農村体験の実施
- ・ 文化交流の実施
- ・ 姉妹都市等交流事業への助成

② グローバル教室交流プロジェクト

- ・ 外国語会話教室の開催
- ・ 海外文化体験教室の開催
- ・ イベント交流事業の実施、周年事業の実施
- ・ 日本語教室の開催
- ・ 日本文化体験交流イベントの実施

③ 協働による交流推進プロジェクト

- ・ 日本語教室連絡会の開催
- ・ 外国語・やさしい日本語による情報提供
- ・ 状況・ニーズ調査の実施
- ・ ボランティアの募集・育成

2 土地開発公社

公有地の拡大の推進に関する法律第10条第1項の規定に基づき、公有地となるべき土地の取得及び管理を行い、もって地域の秩序ある整備と住民福祉の増進に寄与することを目的として設立された。

(1) 概 要

名 称 高槻市土地開発公社

設立年月日 昭和48年1月5日

主 な 事 業 公有地の取得・あっせん

出 資 金 500万円

役 員 (令和6年3月31日現在)

理事長 — 副理事長 — 専務理事 理事 総務部長、都市創造部長、街にぎわい部長
(副市長) (技監) (総合戦略部長)

監事 税理士、会計管理者

組 織 (令和6年3月31日現在)

事務局長 — 総務課
用地課

(2) 令和5年度事業実績

事業別	件数	面積	金額
先行買収 土地売却	2	450.93 m ² m ²	47,166,445 円 円

3 文化スポーツ振興事業団

高槻市の芸術文化の振興を図る事業及びスポーツ活動の振興を図る事業を行い、魅力ある市民文化、個性豊かな地域文化の創造と健康で活力に満ちた明るい市民生活の実現に寄与することを目的とする。

(1) 概 要

名 称 公益財団法人高槻市文化スポーツ振興事業団

設立年月日 平成元年3月29日

事業 ・ 芸術文化鑑賞事業の開催
・ 芸術文化活動の支援及び協働
・ 生涯学習の推進及び活動を支援する事業
・ スポーツ活動の推進及び活動を支援する事業
・ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

基本財産 5億8,000万円

役員 11人（令和6年6月12日現在）

理事長・代表理事（文化・芸術関係者）

— 副理事長・代表理事（行政経験者）

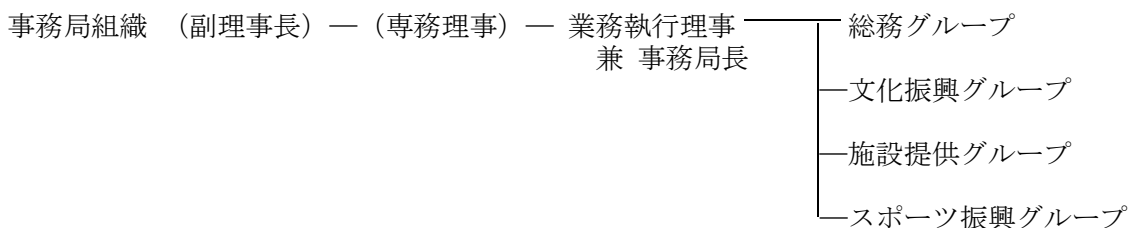
— 専務理事（行政経験者）

— 理事・業務執行理事1人（行政出向者）

— 理事5人（学識経験者、文化・芸術関係者、行政関係者等）

監事2人（行政経験者、税理士）

評議員 7人（令和6年6月11日現在）



(2) 主な事業

◎令和5年度

① 地域の芸術・文化等の振興を図る事業

- ・ 鑑賞事業…29事業
- ・ 普及・育成事業…12事業
- ・ 交流連携事業…18事業
- ・ 市民の文化活動を推進及び支援する事業…9事業
- ・ 芸術・文化関係の情報発信事業
- ・ 生涯学習事業
- ・ 施設の管理・運営事業

② 地域のスポーツ活動の振興を図る事業

- ・ 高槻市スポーツ推進計画のもと、スポーツ活動の推進及び活動を支援する事業
- ・ 各種スポーツイベント等への協力
- ・ スポーツ体験の機会の提供

③ 地域の芸術・文化等の振興に資する事業

- ・ 公益目的以外（芸術・文化等の振興を達成する利用以外）での施設の貸与
- ・ クロスパル高槻内の行政機関（消費生活センター、パスポートセンター等）が使用する場所の管理
- ・ 高槻文化友の会運営事業
会員受付数（2024年3月末現在）：高槻文化友の会 2,007口
〔内訳：一般会員643、グリーン会員1,351、法人会員13〕
- ・ 広告掲載事業
- ・ 公演チケットの委託販売 33公演
- ・ 施設の利用者の利便を図る事業（有料駐車場、自動販売機設置管理業務）

4 シルバー人材センター

公益社団法人高槻市シルバー人材センターは、昭和57年8月27日に設立され、平成24年4月1日に公益社団法人へ移行し、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、定年退職者等の高年齢退職者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助してこれらの者の生きがいの充実、社会参加の推進を図ることにより、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的としている。

(1) 事業内容

- ① 高年齢者の就業に関する情報の収集及び提供
- ② 高年齢者の就業に関する調査研究
- ③ 高年齢者の就業に関する相談
- ④ 臨時的かつ短期的な就業（雇用によるものを除く。）又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものを除く。）を希望する高年齢者に対する希望と能力に応じた就業機会の開拓及び提供（高年齢者に対する就業、又は収入の保障の事業は除く。）
- ⑤ 臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る。）を希望する高年齢者のための職業紹介事業の実施（高年齢者に対する就業、又は収入の保障の事業は除く。）
- ⑥ 高年齢者に対し、臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習を行うこと。
- ⑦ 臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る。）を希望する高年齢者に対する一般労働者派遣事業の実施

- ⑧ 前各号のほか、臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業を通じて、高年齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業を行うこと。

(2) 会 員

市内に住所を有し、健康で働く意欲のある60歳以上の方

会員は、令和6年3月末現在1,049人（男751人、女297人、未回答1人）

(3) 会 費 1人年額1,500円

(4) 役員等構成

理事長1人、副理事長1人、常務理事1人、理事15人、監事2人

(5) 講 習 会 草刈り機械操作、植木剪定他

(6) 事業実績（令和5年度）	契約件数	4,859件
	契約金額	432,737千円
	期間就業率	76.5%

5 社会福祉協議会

この社会福祉法人は、高槻市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とする。

(1) 事業概要

- ① 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
- ② 社会福祉に関する活動への住民参加のための援助
- ③ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
- ④ ①～③のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業
- ⑤ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡
- ⑥ 共同募金事業への協力
- ⑦ ボランティア活動の振興
- ⑧ 福祉相談に関する事業
- ⑨ 福祉サービス利用援助事業
- ⑩ 心配ごと相談事業
- ⑪ 善意銀行に関する事業
- ⑫ 生活福祉資金貸付事業
- ⑬ 移送サービス事業
- ⑭ 老人福祉センターの経営
- ⑮ 障害児通所支援事業の経営

- ⑯ 障害児相談支援事業の経営
- ⑰ 特定相談支援事業の経営
- ⑱ 幼保連携型認定こども園の経営
- ⑲ 病児保育事業の経営
- ⑳ 地域子育て支援拠点事業の経営
- ㉑ その他この法人の目的達成のため必要な事業

(2) 役員構成

理事 21 人（会長 1 人、副会長 3 人、常務理事 1 人を含む）、監事 2 人、評議員 41 人

(3) 相談及び福祉サービス事業

① 相談事業

事業名	相談日	受付時間	事業内容	令和 5 年度実績
身近な福祉・暮らしの相談	毎週 金曜日	午後 1 時～4 時	高齢者の福祉問題をはじめ、市民の日常生活のあらゆる相談に関して、社協のコミュニティソーシャルワーカーが相談、解決にあたっている。	身近な福祉・暮らしの相談件数 44 件 身近な福祉相談件数 13 件 心配ごと相談件数 50 件 ボランティア相談件数 74 件
身近な福祉相談	毎週 月曜日	午後 1 時～3 時	高槻市民間社会福祉施設連絡会が、施設の専門性を生かして、多様な相談にあたっている。	
心配ごと相談	毎週 水曜日	午後 1 時～3 時	暮らしの中の心配ごとの相談について、専門相談員が解決、指導にあたっている。	
ボランティア相談	毎週 火・木曜日	午後 1 時～4 時	ボランティア活動に関してのあらゆる相談にあたっている。	

② 福祉サービス事業

事業名	事業内容	令和 5 年度実績
車いす貸出	市内在住で、ケガや病気等により日常生活を営むのに支障があり、他の福祉機器貸出サービスを受けられない方を対象に、車いすを貸し出している。	貸出回数 346 回
移送サービス事業	市内在住で、日常生活を車いすで過ごされ、公共交通機関で外出が困難な高齢者や重度障がいのある方が外出できるよう、車いす専用のスロープ付き自動車移送サービスを実施している。 (※事前登録が必要)	利用回数 515 回

(4) 啓発事業

① 福祉たかつきの発行

社協活動を市民に啓発するため「福祉たかつき」を年4回発行し、宅配により全世帯に配布した。
また、目や耳に障がいがある方のために点字版、手話DVD版を年4回発行した。

② 冊子・パンフレットの発行

社協活動を市民に啓発するため各種冊子・パンフレットを発行した。

1. 地区福祉委員会 活動報告集	400 部
2. 社協のしおり（令和5年度版）	5,000 部
3. 令和5年度コミュニティソーシャルワーカー（CSW）活動報告集	1,000 部
4. 地区福祉委員会 活動の手引き	500 部
5. 令和6年度高齢者食事サービス献立集	800 部
6. 日常生活自立支援事業 利用案内	500 部
7. コミュニティソーシャルワーカー（CSW）リーフレット	2,000 部

③ 後援・協賛事業

社会福祉への市民参加の促進を図ることなどを目的として開催される事業に対して社会福祉事業の奨励に関する要綱に基づき、後援・協賛を行った。

後援・協賛事業数

32 事業

(5) 大阪府生活福祉資金

- ① この資金は、大阪府が、低所得者、高齢者及び身体障がい者等の世帯が安定した生活を営むことができるよう、生業・住宅の増改築・修学・療養などに必要な資金を低利もしくは無利子で貸付けする制度である。

令和5年度は、91件の貸付けを行った。内訳は、教育支援資金39件、福祉資金25件、総合支援資金2件、緊急小口資金25件の貸付けであった。

② 新型コロナウイルス感染症特例貸付事業

令和5年1月より貸付金の償還が開始されている借受人に対し、フォローアップ支援事業として個々の状況に配慮した猶予・免除等案内を行った。

- (1) 償還猶予期間中の借受人に対するフォローアップ支援

アンケート86通郵送

返答67通

生活状況に関する意見書による免除申請45件

- (2) 償還免除申請に未応答の借受人へのフォローアップ支援

アンケート473通郵送

返答35通

(6) 高槻市ボランティア・市民活動センターの運営

ボランティア・市民活動センターは、ボランティア活動に参加したい方、ボランティアの力を必要とされる方に対して相談支援を行うとともに、各種講座の開催やグループ・活動の紹介、福祉制度・活動に関する情報提供を行っている。また、いつでもだれでも気軽に立ち寄れるボランティア活動の拠点としている。

ボランティア・市民活動センターでは、ボランティア活動のPR、育成と援助を行うため次の事業を

行っている。

- ① 市民啓発事業（ボランティア・市民活動フェスティバル、たかつきふれあいひろば）の開催及び啓発チラシの発行
- ② ボランティアの育成・養成講座の開催
- ③ ボランティアの登録・相談支援
- ④ ボランティア連絡協議会、登録ボランティアグループの運営支援
- ⑤ ボランティア保険の加入促進
- ⑥ ボランティア研修に対する参加の促進
- ⑦ ハートフル大賞称賛事業の実施
- ⑧ 会議室・機材の利用及び貸出
- ⑨ 災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーション等、災害関連事業の実施

(7) 会員の確保と拡充

令和５年度の社協会員募集において、地区福祉委員会、自治会役員及び関係団体並びに市民の方々の協力によって、住民会員および一般賛助会員の会員応募があり、12,681,641 円の会費をいただいた。この会費は、その６０％を各地区の活動費として活用している。また、市内の事業所等を対象とした会員募集では、特別賛助会員として 320 件の加入があり、1,779,300 円、組織構成会員として 139 件の加入があり、515,000 円の会費をいただいた。

(8) 歳末たすけあい運動

令和５年度１１月２０日から１２月２０日まで「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに共同募金運動の一環として、第７０回歳末たすけあい運動を展開した。市民の理解と民生委員児童委員や社会福祉施設、各種団体の積極的な協力を得て、市内の数多くの人々に慰問品（図書カード・日用品など）を贈り、またひとり暮らしの高齢者を対象に、おせち料理 2,855 食の配食を行っている。

(9) 青少年対策事業

交通遺児の健全な育成支援を目的として積み立てられた交通遺児育成基金から、令和５年度は、交通遺児入学祝金・激励金として合計 70,000 円を 20 歳未満の遺児 7 人に贈った。

また、７月１６日に「夏休み子ども映画会」を高槻城公園芸術文化劇場トリシマホールで「バッドガイズ」を上映し、合計 852 人の親子にふれあいの場を提供した。

(10) 小地域ネットワーク事業

令和５年度は、概ね小学校区の小地域を単位として組織されている地区福祉委員会が、市内 37 地区において、地域の高齢者、子育て中の親子、障がい児者など、地域の支援を必要とする人たちが安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支えあい、助けあい活動を下記のとおり実施した。

グループ援助活動										個別支援
食事サービス		いきいきサロン		地域リハビリ		子育て支援		ふれあい喫茶		まちかど相談
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数
354	13,733	1,120	23,754	877	16,443	281	5,332	1,172	26,394	203

(11) 高齢者対策事業

令和5年度は、高齢者対策事業では、昨年度に引き続き「ひとり暮らし老人会連絡協議会」の会合及び研修会・各会の事業交流は、新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止となった。また、敬老の日にあたり、百歳を迎えられた長寿者の祝賀事業では、男性5人、女性65人に対し、記念品を贈った。

なお、高齢者介護者支援事業については、当事者団体である「介護者家族の会」が令和5年5月の総会をもって解散となった。

(12) 障がい者対策事業

市民の方々より障がい者福祉の増進のためにいただいた寄付金を障害者福祉基金に積み立て、基金から、令和5年度は市内の障がい者8団体へ活動事業費として50,000円を合計400,000円助成した。

(13) 共同募金実績額

(令和5年度)

目 標 額	実 績 額			目 標 額 に 対する割合
	総 額	自治会関係等	法 人	
5,976,000 円	8,464,249 円	7,728,143 円	736,106 円	142%

(14) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、障がい者の自立の支援を目的に福祉サービスの利用に関する支援、日常的金銭管理サービスならびに通帳、諸書類等の預かりサービスを行った。

① 相談援助・支援件数

(令和5年度) (単位：人)

	本事業の利用に関するもの				合 計
	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	不明・その他	
問い合わせ件数	25	13	23	4	65
初回相談件数	26	7	17	0	50
相談援助件数	1,636	1,625	2,042	24	5,327
(内契約前訪問相談件数)	(184)	(32)	(87)	(5)	(308)
生活支援員活動件数	1,289	1,519	1,878	0	4,686
(内生活保護受給者件数)	(576)	(723)	(952)	(0)	(2,251)
令和5年度累計	2,976	3,164	3,960	28	10,128

② 現在（３月３１日現在）の実利用人数

（令和５年度）

	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合 計
実利用人数	32	28	29	0	89

(15) 高齢者地域支えあい事業

ひとり暮らしの高齢者等に対し、地区福祉委員会が市内３７地区において、高齢者が地域の中で孤立することなく、安心して暮らせることを目的に、声かけ見守り訪問を実施した。

（令和５年度）

利用者	延回数	新 規	終 了
3,249 人	78,561 回	228 人	303 人

(16) 生活支援サポーター派遣事業

高槻市内に住む高齢者を対象に、「生活支援サポーター養成講座」を修了したサポーターの派遣を行った。

令和５年度	合計
サポーター派遣受付件数	153 件
サポーター派遣延べ回数	417 回
サポーター登録人数	240 人

(17) 多機関協働事業

重層的支援体制整備事業においては、一部事業を受託し「世代や属性にとらわれない包括的な支援体制整備」、「多様な社会参加支援」、「地域の活性化に向けた支援」の３つの支援を軸に事業を展開した。

① 多機関協働事業

- ・ 支援会議 ８回
- ・ 重層的支援会議 ３回

② アウトリーチ等を通じた継続支援事業

○ コミュニティソーシャルワーク（ＣＳＷ）事業

制度の狭間や複数の福祉課題を抱える住民の相談に応じて、悩みや課題を共に考え、解決に向けた支援をする相談員としてＣＳＷを配置し、様々な相談に対応した。

また、地域を始め、福祉関係者に活動を周知するための活動も行い、精神障がい者や孤立、ひきこもり、サービス支援拒否といった外からは見えにくい問題に積極的に関わりを持つことができた。

- ・ 令和５年度新規相談人数：６６９名

・ 個別相談件数

対象者分類	延べ件数
① 高齢者	2,150
② 障がい者	4,373
③ 児童	3,178
④ 生活困窮	1,049
⑤ ひきこもり	767
⑥ その他	4,300
合 計	15,817

相談区分	延べ件数
① 福祉制度・サービスに関する相談	3,509
② 生活・食品預託払出事業に関する身近な相談	5,832
③ 住宅に関する相談	2,033
④ 就労に関する相談	1,619
⑤ 子育て・子どもの教育に関する相談	571
⑥ 健康・医療に関する相談	533
⑦ 生活費に関する相談	244
⑧ 財産管理・権利擁護に関する相談	241
⑨ 消費者被害に関する相談	216
⑩ 多重債務に関する相談	186
⑪ DV・虐待に関する相談	868
⑫ 地域福祉・ボランティア活動に関する相談	932
⑬ 問合せ（食品預託払出事業の寄付等）	18
⑭ その他	75
合 計	16,877

※対象者分類、相談区分別が複数の項目に重複している場合、各項目に複数カウントしています。

③ 参加支援事業

○ ひきこもり支援ネットワーク「らいむらいと」

ひきこもりや不登校状態にある当事者やその家族を支えるために、市内の支援機関等が集まり情報交換を行う場を開催した。

開催日 第1回 令和5年 8月3日（木）
 第2回 11月29日（水）
 第3回 令和6年 1月24日（水）
 ネットワーク参加機関 22機関
 地域包括支援センター 12か所

④ 共助の基盤づくり事業

○ コミュニティボランティア

既存の制度では解決できない困りごとを抱える人に対するお手伝いなど、一時的な活動を通して、相談者の自立を支援する登録制のボランティア。

- ・登録者数 24 人
- ・活動派遣回数 21 回

○ ひきこもり当事者及び家族への支援事業

- ・ハイフン～みんなの和～

「人と人をつなげる」という意味を表す居場所づくり事業として、参加者同士で日頃の悩みを語り合い、情報交換を行う機会として当事者や家族及び福祉関係者が参加して実施した。

開催日 毎月第3火曜日 延べ参加者 179 人

(当事者・家族 97 人、支援者 82 人)

- ・ハイフン家族教室

ひきこもり状態にある当事者を支えることを目的に、コミュニティ強化と家族訓練をテーマとした家族教室を開催した。

開催日 第1回 令和5年7月3日(月)

第2回 8月14日(月)

第3回 10月16日(月)

第4回 12月18日(月)

第5回 令和6年2月19日(月) 延べ参加者 79 人

① 第1回、第3回、第5回は講師による講義

講師 メンタルワークス大阪 岡崎 剛 氏

② 第2回、第4回は家族交流会

○ ぷら・らぼ事業

これまで交わることのなかった様々な分野の団体や企業等が互いに協働する機会を生み出せるよう、情報交換や交流が図れるプラットフォームの形成を促進した。

- ・プラットフォーム展開に向けた懇談会の開催 1 回

ぷらっとカフェ 開催日 令和6年3月30日(土) 参加者 25 人

(18) 生活支援コーディネーター設置事業

① 地域資源の開発

1. 現状把握

- ・地域活動（通いの場）への参加回数 207 回
- ・地域包括支援センター主催の会議への出席
圏域ケア会議 23 回／個別ケース検討会議 22 回

2. 資源開発

- ・話し相手ボランティア活動
- ・データベースシステム Ayamu の活用促進（新規登録団体 20 団体）
- ・樫田地区の取組

檜田地区実態調査で把握した、住民同士の交流の機会と買い物支援ニーズに対応するため、亀岡市への買い物バスツアーを昨年度に引き続き実施し、また、檜田地区の現状や社会資源について、地区に携わる方に話を伺う機会を設けた。

- ・清水地区の取組

住民同士が集い多世代交流できる場を創出するため、清水地域包括支援センターの圏域ケア会議の中で、マルシェ開催に向けた話し合いを行った。

- ・西大冠地区の取組

城南町一丁目での見守り・助け合いが出来る地域を目指すため、天川地域包括支援センターと協力し、認知症サポーター養成講座を実施した。

3. 担い手の発掘・確保

- ・「スマホでつながろう！ICT活用コミュニティ講座」受講生の活動支援

- ・ふたばサロン（高齢者対象スマホ講座）の開催（参加者10名）

② ネットワークの構築

1. 団体間の地域課題の検討の場

- ・生活支援に関する意見交換

シルバー人材センターや市民公益活動サポートセンター、生活支援サポーター、ボランティア・市民活動センターの取組について情報共有を図るため、意見交換会を開催した。

- ・高槻市高齢者生活支援ネットワーク協議会（3回開催）

高齢者向けの生活支援サービス・通いの場を運営している事業所や団体が、情報や課題を共有し、生活支援体制の整備を推進するため、市と協力し「集客」をテーマに開催した。

2. 地域単位での地域課題の検討の場

- ・総持寺団地の住民同士が支え合う仕組み作り

- ・郡家包括圏域の生活支援団体との意見交換

③ ニーズと取組のマッチング

相談件数（高齢者の集いの場の紹介、団体等の紹介など） 合計 76 回

④ その他

1. 講座等による生活支援コーディネーター事業の周知 合計 9 回

2. 広報誌「きずな」（9月号・3月号）の作成及び配架

(19) 地域包括支援センター事業（高槻中央地域包括支援センター）

3職種（主任ケアマネジャー、社会福祉士、看護師）の職員を配置し、総合相談窓口として高齢者に関する相談を受けた。また、介護予防教室開催等を通じた介護予防事業、認知症に関する市民向け啓発活動、商業施設・医療機関・地域関係者等とのネットワークづくり、高齢者虐待への対応、消費者被害の防止等を目的とした総合相談支援事業の推進に努めた。さらに、指定介護予防事業所として市民からの介護予防サービスについての相談に応じ、ケアマネジメント業務を行った。

相談件数 (単位：件)

月	件数	月	件数
4	56	10	62
5	50	11	52
6	64	12	50
7	63	1	55
8	54	2	52
9	61	3	48
合 計		667	

介護予防ケアプラン作成件数 (単位：件)

月	作成件数			月	作成件数		
	直営分	委託分	計		直営分	委託分	計
4	228	67	295	10	242	65	307
5	220	70	290	11	239	67	306
6	219	69	288	12	236	69	305
7	219	67	286	1	233	69	302
8	226	66	292	2	234	66	300
9	235	65	300	3	235	68	303
合 計					2,766	808	3,574

介護予防ケアマネジメント計画作成件数 (単位：件)

月	作成件数			月	作成件数		
	直営分	委託分	計		直営分	委託分	計
4	119	40	159	10	124	41	165
5	121	40	161	11	122	40	162
6	120	39	159	12	118	41	159
7	122	39	161	1	124	40	164
8	123	39	162	2	127	39	166
9	124	39	163	3	128	35	163
合 計					1,472	472	1,944

(20) 高槻市立老人福祉センター (すこやかテラス)

- ・ 富田老人福祉センター (すこやかテラス) “ひかり荘”
- ・ 郡家老人福祉センター (すこやかテラス) “ふるさと”
- ・ 春日老人福祉センター (すこやかテラス) “あけぼの”
- ・ 山手老人福祉センター (すこやかテラス) “花みずき”
- ・ 芝生老人福祉センター (すこやかテラス) “やすらぎ”

市内に居住する60歳以上の市民に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための機会を提供するとともに、介護予防の拠点施設として、専門職を配置し、各種の運動、口腔、栄養の実践・相談に応じるなど、高齢者の生きがいと健康づくりの推進に努めた。

① 利用者数

(単位：日、人)

施設		月	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月	合計
富田	開館日		74	75	73	71	293
	男性		1,111	1,117	1,159	1,050	4,437
	女性		2,236	2,474	2,742	2,594	10,046
	合計		3,347	3,591	3,901	3,644	14,483
	1日平均		46	48	53	52	50
郡家	開館日		74	75	73	71	293
	男性		4,061	4,262	4,373	4,092	16,788
	女性		3,584	3,607	4,168	3,917	15,276
	合計		7,645	7,869	8,541	8,009	32,064
	1日平均		104	105	117	113	110
春日	開館日		74	75	73	71	293
	男性		2,425	2,661	2,811	2,651	10,548
	女性		2,694	2,951	3,476	3,389	12,510
	合計		5,119	5,612	6,287	6,040	23,058
	1日平均		70	75	87	85	80
山手	開館日		74	75	73	71	293
	男性		1,345	1,434	1,652	1,553	5,984
	女性		2,751	2,456	2,755	2,611	10,573
	合計		4,096	3,890	4,407	4,164	16,557
	1日平均		56	52	61	59	57
芝生	開館日		74	76	72	70	292
	男性		3,294	3,673	3,242	3,232	13,441
	女性		3,662	3,712	3,623	3,845	14,842
	合計		6,956	7,385	6,865	7,077	28,283
	1日平均		94	98	96	102	98

② 主な事業の実施状況

- ・ 富田老人福祉センター
ひもトレ健康講座
手作り体験
スーベニールコンサート
ピラティス
- ・ 郡家老人福祉センター
ふるさと音楽隊演奏会
郡家すこやかテラス発表会
自立整体体験会
利用者参加型避難訓練
- ・ 春日老人福祉センター
多世代交流事業（近隣の小中学校との交流）
陶芸講座「干支（辰）の箸置きづくり」
園芸講座「竹コースター作り」「門松づくり」
アート講座「墨彩画教室」「パステルアート」
手芸講座「ペットボトルカバーを編もう！」「ふくろうブローチ作り」
体験教室「ディスコン」「カラオケ」「お灸」
- ・ 山手老人福祉センター
ロビーコンサート
芸能まつり
フラワーアレンジメント
多世代交流「五領小学校交流会」
- ・ 芝生老人福祉センター
歯周病予防と転倒予防体操
セルフヘッドスパ講座
ヘルマンハーブ演奏会
腰痛についての講座と体操
多世代交流「柳川中学校 吹奏楽演奏会」

（共通開催行事）

スマホ講座、終活講座、健康講座、美容講座、防災講座、映画会、演奏会、ニュースポーツ体験会、熱中症啓発セミナー、理学療法士会市民公開講座、福祉巡回相談等

(21) 地域支援事業

①元気体操クラス

60歳以上の方を対象に、市内5か所の老人福祉センター等で、ストレッチ体操やお口の体操、筋力アップ体操などを実施した。 総参加者数 17,442 人

<内訳>

(単位：人)

月 施設	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月	合 計
富田	558	465	547	387	1,957
郡家	841	767	701	712	3,021
春日	516	653	618	603	2,390
山手	535	428	459	389	1,811
芝生	664	626	560	499	2,349
高槻センター街ビル	1,330	1,082	1,110	954	4,476
愛仁会リハビリ テーション病院※	—	247	583	608	1,438
合計	4,444	4,268	4,578	4,152	17,442

※7月から開始

②すこやかエイジング講座（初級編）

60歳以上の方を対象に、介護予防の基本や市の取組を簡潔に伝える講座。「くらしの元気度チェックリスト」等を通して、自身の状態について知り、取組のきっかけを作る。

総参加者数 401 人

<内訳>

(単位：人)

月 施設	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月	合 計
富田	16	14	6	19	55
郡家	38	28	24	28	118
春日	20	18	10	22	70
山手	4	4	4	4	16
芝生	33	15	23	9	80
センター街ビル	15	13	9	25	62
合計	126	92	76	107	401

③健康サポートひろば

60歳以上の方を対象に、介護予防や健康に関する個別相談、情報提供を行った。

総参加者数 261 人

<内訳>

(単位：人)

月 施設	第 1 四半期 4～6 月	第 2 四半期 7～9 月	第 3 四半期 10～12 月	第 4 四半期 1～3 月	合 計
富田	25	12	10	13	60
郡家	15	11	16	15	57
春日	14	4	6	12	36
山手	9	6	6	7	28
芝生	17	17	26	20	80
合計	80	50	64	67	261

④もてきんスタジオ

安満遺跡公園、富田支所前広場にて、おおむね 60 歳以上を対象に、「もてもて筋力アップ体操」に取り組む機会を提供し、介護予防の普及啓発及び運動習慣の定着化を図った。

総参加者数 5,023 人

<内訳>

(単位：人)

月 施設	第 1 四半期 4～6 月	第 2 四半期 7～9 月	第 3 四半期 10～12 月	第 4 四半期 1～3 月	合 計
安満遺跡公園	1,336	224	1,082	672	3,314
富田支所前広場	465	238	589	417	1,709
合計	1,801	462	1,671	1,089	5,023

(22) 産前・産後ママサポート事業

母親が産前・産後に体調不良等のため、育児等を行うことが困難な家庭に支援員を派遣して育児等の支援を行うことで、母親の心身の健康を維持するとともに、いつも笑顔で子育てができるよう支援を行った。

①事業内容

ア 支援員派遣（産前・産後の育児に関する相談支援等）

イ 支援員研修（月 1 回 実施報告・支援員ミーティング、研修会参加等）

②派遣回数

	利用者延べ数（人数）				派遣 延べ回数
	新 規	今年度初回	今年度 2 回目 以降	合 計	
4 月	31	74	111	216	227
5 月	21	19	163	203	223
6 月	20	14	174	208	219
7 月	22	6	145	173	187
8 月	22	3	132	157	170
9 月	27	3	165	195	212

10 月	31	2	172	205	221
11 月	20	0	177	197	208
12 月	19	1	174	194	204
1 月	16	1	147	164	172
2 月	18	0	170	188	195
3 月	14	1	181	196	203
合計	261	124	1,911	2,296	2,441

(23) 高槻市立療育園

就学前の通園児に対する児童発達支援事業、概ね18歳までの障がいがある児童を対象にした外来リハビリテーション事業及び医師による診察・相談等を行い、肢体不自由児（者）の全面的発達を促すことに努めた。更に、保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業・放課後等デイサービス事業などを行い、さまざまな障がいがある子ども達が地域において安心して過ごせるように支援を行った。

事業の運営では、隣接の高槻市立うの花療育園との一括管理を行い、給食の提供や専門職の交流等を実施し事業強化に努めた。

①医療型児童発達支援（通園事業）

（ア）週4日通園

a リハビリテーション

通園児に対し理学療法、作業療法、言語聴覚療法の実施により、園児の健全な発達の促進に努めた。

b 保育

情緒面の発達を積極的に促して、園児がもっている本来の能力を引き出すことに努めた。

c 診察及び保健指導

医師による診察及び看護師による保健指導を行った。医師による診察においてはリハビリテーションの指示及び園児の種々の疾病の早期発見を行うとともに、保護者への医療相談を実施した。また、看護師は、園児の日々の健康状態等を把握し、健康保持と増進を図るための保健指導を行った。療育の内容を充実させるため、各種の診察を行って園児一人ひとりの状況を把握するとともに、健康の維持・増進に努めた。

（a） 管理医師診察（毎日）

（b） 小児科診察（月4回）

（c） 整形外科診察（月1回）

（d） リハビリテーション科診察（月1回）

d 生活指導

園児に対する基本的な生活習慣の指導を実施するとともに、その保護者に対して、家庭における療育が適切に行われるよう必要な指導を実施した。（年間11回の母親教室を開き、各療法、保育、歯科及び栄養指導について、園児一人ひとりに即して指導した）

e 音楽療法

音楽に合わせて決められた動作を毎日繰り返し行うことにより、楽しみながら運動感覚を会得

するよう指導した。

f 給食

隣接の高槻市立うの花療育園と協力して給食提供を行い、献立・調理等を共同研究することで、栄養素等のバランスの取れた食事を提供し、併せて食事面での自立を図るための食事指導を行った。

g 衛生管理

園児が接する設備の清掃や食事の手洗い等衛生管理に努め、消毒等衛生上必要な措置を講じた。

h 送迎バスの運行

通園バスにより、あらかじめ定められた乗降地点より保護者とともに送迎を行った。

i 主要行事

年間をとおり園児の障がいの程度やニーズに合わせた行事をシーズンごとに行った。また、園での取組や日頃の様子を家族に知ってもらう機会も合せて設けた。

※7月中旬から8月末まで、午後1時までの夏期短縮プログラムとし、プール遊び等を実施した。

利用状況

(単位：日、人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開園日数	15	16	18	16	13	16	17	15	15	14	15	17	187
延べ人数	125	160	206	189	136	195	222	187	185	162	176	234	2,177

(イ) 週1日通園（水曜通園）

病院等関係機関からの紹介で、診察・相談を受けたのち、毎週水曜日午前に新規利用児として通園する児童に対してリハビリテーション・保育を実施した。

また、保護者に対し必要な知識、技能などの助言をおこなった。

利用状況

(単位：日、人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開園日数	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	3	48
延べ人数	14	19	8	6	6	4	7	6	5	13	11	10	109

医療型児童発達支援の男女年齢別人数(途中退園含む)

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
男性	1	5	4	3	1	3	17
女性	1	3	2	2	1	0	9

② 保育所等訪問支援

保育所等へ通う児童に対して、各専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）が訪問支援員として保育所等を訪問し、児童に合せた環境調整や支援者及び本人に対して助言を行うなどの支援を実施した。

訪問数

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
訪問数	0	0	2	4	0	1	2	0	0	1	0	0	10

③ 相談支援（障がい児相談支援）

相談支援専門員を配置し、発達について心配な事や不安な事がある子どもとその保護者の方を対象に、それぞれの状況に応じて必要な支援やサービスを一緒に考えていく相談支援を実施した。

月別計画提出数

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
請求件数	34	15	15	10	8	38	18	20	16	16	10	22	222

④ 外来リハビリテーション事業

保育所、幼稚園、学校等（支援学校を含む）へ通園（学）する概ね18歳までの障がい児（者）を対象に、月、火、水、木曜日に理学療法・作業療法及び言語聴覚療法を行った。

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ人数	244	272	242	238	213	239	238	236	223	230	212	208	2,795

⑤ 放課後等デイサービス

学校に通う重症心身障がいがある児童を対象に学校授業終了後や休業日に、遊びや体を使った活動を通して身体機能の維持促進に努め、生活能力の向上を目指した支援を実施した。（1日5人・月曜～金曜25名）

月別利用延べ人数

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ人数	62	63	71	62	53	67	61	59	51	57	50	57	713

⑥ 障害児等療育支援事業

診療相談・療育相談

保健所、病院等から紹介を受けたケースに対して、診療及び療育相談など専門的な相談支援を実施した。

⑦ 居宅訪問型児童発達支援事業

重症心身障がいなどの重度の障がいがある児童であって、児童発達支援等の障がい児通所支援を受けるために外出することが著しく困難な児童の居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導や知識技能の付与等の支援及び通所支援へ向けた移行支援の事業である。令和5年度の利用者は無し。

(24) 富田認定こども園

令和5年4月1日から、従来公立施設として運営されていた高槻市立富田保育所と高槻市立富田幼稚

園を統合し、富田認定こども園として運営を開始した。高槻市から保育教諭の派遣を受け、公立施設が培ってきた教育・保育手法を引き継ぎ「一人ひとりを大切にする保育」を実践した。

また、令和7年4月から供用開始予定の新園舎についても、工事請負業者の決定等、整備に向けた取組を進めた。

①定 員 ※令和5年度は0歳児～5歳児までの利用定員176名で運営（単位：名）

	1号認定児童	2号認定児童	3号認定児童	計
0歳児			6	6
1歳児			18	18
2歳児			22	22
3歳児	5	33		38
4歳児	9	35		44
5歳児	10	38		48
計	24	106	46	176

②在園児数（毎月1日現在）0歳児～5歳児までの利用定員176名で運営（単位：名）

	1号認定			2号認定			3号認定			計
	3歳児	4歳児	5歳児	3歳児	4歳児	5歳児	0歳児	1歳児	2歳児	
令和5年4月	7	8	3	33	42	32	6	17	23	171
5月	7	9	3	33	42	32	6	18	22	172
6月	7	9	3	33	42	32	6	18	22	172
7月	7	9	3	33	42	31	6	18	22	171
8月	7	9	3	33	42	31	6	18	22	171
9月	7	9	3	33	42	32	6	18	22	172
10月	7	9	3	33	42	31	6	18	22	171
11月	7	9	3	33	42	31	6	18	22	171
12月	7	9	3	33	42	31	6	18	22	171
令和6年1月	6	9	3	32	42	31	6	18	22	169
2月	6	9	3	32	42	31	6	18	22	169
3月	6	9	3	32	42	31	6	18	22	169

③行事等の実施状況

月	内 容
令和5年4月	入園式、身体計測
5月	幼児懇談会、眼科検診、幼児遠足
6月	歯科検診、内科検診、耳鼻科検診、乳児懇談会、お楽しみ会（5歳）、プール開き
7月	夏祭り、虫歯啓発、1号認定自由登園
8月	1号認定自由登園
9月	

10月	運動会、内科検診、園外保育（幼児）
11月	幼保交流、歯科検診
12月	フェスタヒューマンライツ、保育参観（幼児）、地域に開く保育（音楽会）、クリスマス会
令和6年1月	交通安全教室、幼保交流、懇談会（幼児）、参観・懇談（乳児）
2月	保育参観、お別れ遠足（5歳）
3月	お別れパーティー、修了式

その他：避難訓練（毎月）、お話会（4・8・3月休止）、なかよしタイム（毎月）

④病児保育（体調不良児対応型）利用者数

（単位：名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
21	24	27	14	13	19	25	23	13	15	19	13	226

⑤新園舎整備に向けた取組

富田認定こども園新園舎の整備に伴い、地域説明会を合計3回開催した。また、高槻市からの依頼に基づき、旧高槻市立富田保育所園舎解体撤去工事（解体撤去費用 35,958,400 円）を行った。新園舎の工事についても、施工業者を決定し、令和6年2月より新園舎の建築工事を開始している。

(25) 富田子育て支援センター

地域の子育て世帯が気軽に交流できる場として、高槻市からの委託を受け、富田認定こども園内で運営している。親子の交流を深める教室の開催や地域のボランティアの協力を得て、講習等を実施した。

①交流の場（フリースペース）の開設

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	19	20	21	20	21	20	21	20	20	19	18	19	238
組数	51	68	81	115	73	128	101	107	96	114	87	88	1,109
人数	103	137	164	243	160	268	206	218	201	240	176	185	2,301

②親子教室の開催

（全て延べ数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	1	5	6	9	1	5	4	8	3	0	3	0	45
組数	4	18	21	23	5	20	18	28	8	0	10	0	155
人数	8	36	42	46	10	40	36	56	16	0	20	0	310

③子育て等に関する相談

合計 161 回

④子育て及び子育て支援に関する講習等の実施（合計 16 回）

月	講 座	組数	人数	備 考
令和 5 年 4 月	手作りおもちゃ	3	6	
5 月	ベビーマッサージ	4	8	
6 月	手作りおもちゃ	8	8	
7 月	つながり遊び	16	32	二部制
8 月	手作りおもちゃ	2	5	
	ベビーマッサージ	5	10	
9 月	親子ヨガ	18	36	
	離乳食試食会	3	6	
10 月	わらべうた	8	16	二部制
	離乳食試食会	3	6	
11 月	ベビーマッサージ	4	8	
	離乳食試食会	3	6	
12 月	親子ヨガ	11	22	
令和 6 年 1 月	離乳食試食会	3	6	
2 月	手作りおもちゃ	2	4	
3 月	親子でリズム遊び	8	16	
合 計		101	195	

⑤地域支援活動

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
出前 広場	回数	0	1	1	1	/	1	1	1	1	/	1	1	9
	組数	0	3	6	5	/	4	4	3	6	/	3	4	38
	人数	0	6	12	10	/	8	8	6	13	/	7	8	78
公園 広場	回数	0	2	1	/	/	2	2	2	1	/	/	2	12
	組数	0	2	2	/	/	1	5	14	6	/	/	6	36
	人数	0	4	4	/	/	2	11	31	12	/	/	14	78
合 計	回数	0	3	2	1	/	3	3	3	2	/	1	3	21
	組数	0	5	8	5	/	5	9	17	12	/	3	10	74
	人数	0	10	16	10	/	10	19	37	25	/	7	22	156

出前広場については赤大路コミュニティセンターにて実施

公園広場については筒井池公園および栄町第一公園にて実施

6 大阪府三島救急医療センター

公益財団法人大阪府三島救急医療センターは、地域の初期救急医療を担う夜間休日等応急診療等事業を運営する。当財団は、地域住民が等しく救急医療の利益を享受できるよう、これら事業を実施運営することにより健康で幸福な住民生活の保持と公衆衛生の向上に寄与することを目的に公益的な医療を行う。

(1) 概要

名 称	公益財団法人大阪府三島救急医療センター (平成24年4月1日より公益財団法人へ移行)
設立年月日	昭和49年6月6日
役員等	役員 13名 理事長1名、副理事長2名、専務理事1名、常務理事1名、理事6名、 監事2名 評議員 9名 (令和6年3月31日現在)

(2) 事業

公益目的事業：夜間休日等応急診療等事業（高槻島本夜間休日応急診療所）

小児初期救急医療を広域で担い、内科に加え、外科を有しているのが大きな特長である。歯科は休日のみ診療している。他の病院、診療所の夜間及び休日等の休診時に診療を行い、地域の無診療の時間帯の応急診療を担っている。

7 高槻市観光協会

(1) 概要

名 称	公益社団法人高槻市観光協会 (平成26年4月1日より公益社団法人へ移行)
設立年月日	昭和43年1月9日
令和5年度決算額	95,982,375 円
会 員 数	168人 (令和6年3月31日現在)
役 員	理事19人 (代表理事1人、業務執行理事4人を含む)、監事2人
職員組織	事務局常勤職員3人

(2) 主な事業

交流人口が増える街づくりを目指すため、観光企画事業・観光案内事業・広報活動事業（観光マップ・観光ポスターの作成等）を実施し、観光振興並びに文化事業の振興を促進している。

高槻の魅力をPRするため、「芸能フェスティバル」等を実施するとともに、「高槻ジャズストリート」の共催や各種イベントの後援等を行う。

また、観光客の利便性を高めるために、観光用のホームページの拡充を図るとともに、観光ボランティアガイド派遣等の事業を実施している。

高槻市の玄関口であるＪＲ高槻駅構内に設置する「ＪＲ高槻駅観光案内所」は、本市を訪れる人々への観光情報発信の拠点となっており、来街者の利便性向上を図っている。

平成２８年度より、市、高槻市観光協会、高槻商工会議所の３者で「オープンたかつき運営会議」を立ち上げ、体験交流型観光プログラム「オープンたかつき」がスタートし、事務局を担う。

平成２９年度に事務局を阪急高槻市駅構内の高槻市観光情報コーナー内へ移転。

令和元年度にはウルフルケイスケ氏が、令和２年度には人気バンド「ヤバイＴシャツ屋さん」のしばたありぼ氏と「夜の本気ダンス」のマイケル氏が、「たかつき観光大使」に就任した。

令和２年度、酒類販売業免許・地域限定旅行業を取得したほか、ＪＲ高槻駅観光案内所で「たかつき土産」の販売を開始。また、街歩きに便利な「たかつき観光アプリ」をリリースした。

令和３年度には株式会社バンダイナムコエンターテインメントの人気ゲーム「アイドルマスター」のキャラクター「高槻やよい」が「たかつき観光大使」に就任し、バースデーイベントの開催やオリジナルグッズの作成等、様々な活動を展開している。

８ 高槻都市開発株式会社

(1) 概 要

名 称	高槻都市開発株式会社
設 立	昭和５３年５月
資 本 金	１００，０００，０００円
出 資 金	４７，８３０，０００円
役 員	代表取締役１人、取締役６人、監査役２人

(2) 主な事業

昭和５３年５月に国鉄高槻駅南再開発事業の中核会社として設立。現在の主要業務は、ＪＲ高槻駅前広場の管理受託業務、グリーンプラザたかつき１号館、３号館のビル管理業務、ＪＲ高槻駅南地区周辺の駐輪施設事業、損害保険代理店業務など。

また、高槻市中心市街地活性化協議会事務局を担い、地域密着型のディベロッパーとして、ハード・ソフトの両面から、中心市街地の活性化に向けて取り組む。